新十津川小学校　　学校だより

ふるさと

第　３　号

令和　８　年　６　月　２　日発行

発行責任者

校長　　菅原　一毅

学校での学びが何の役に立つのか

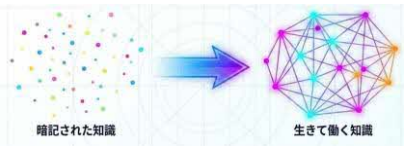
「こんな勉強、大人になっても何の役にもたたない」「こんなこと学んでも意味ない」そんなことを学生の頃、思ったことはありませんか？私はしょっちゅう思っていましたし、口にも出していました。新十津川小学校の子ども達も、同じように思ってる子がいると思います。では、学校での教育活動は何のために行われているのでしょうか？

学校にはそれぞれ教育目標があり、新十津川小学校は「ふるさとを愛し、夢と希望を持つ子ども」です。そしてその後に、**「進んで学びよく考える子（知）」「心豊かでやさしい子（徳）」「健康で強くたくましい子（体）」**が続きます。学校の教育活動の目的はこの３つの達成に向けて進むことなのです。明治時代以来続く「知・徳・体」。バランスのとれた人格を目指そう、ということです。

しかし、令和に生きる子どもたちにとっては、「この目標に向かって進んでいくと、大人になったときに役に立つ力が身につくのか？」と疑問が出てくると思います。今はこれまでの常識や価値観がどんどん変わる、スピーディーな社会です。学校教育目標はいつの時代にも変わらない土台の子ども像であり、**「今必要な力」**は新たに考えていかなければなりません。

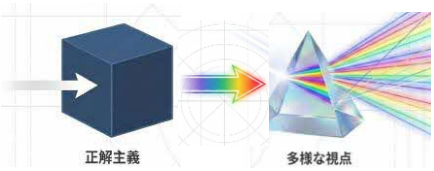
そこで、新十津川小学校では、「今必要な力」として、下記の3点にまとめました。この力を**「資質・能力」**と呼びます。新十津川小学校の様々なデータや教職員の声を結集し、まとめました。保護者の皆様や地域の皆様とも共通理解を図りたいと考えています。

つなげる･つながる



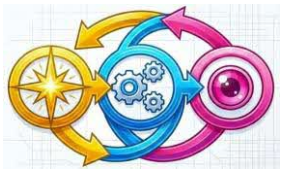
土台となる基礎を作り、**「他者や社会と自分の学びをつなげる」「知識や経験を通してできるようになったことがつながる」**ようにしていく。

考えをひらく



知識を暗記～再生して正解を見つけ出す力だけではなく、**様々な知識や他者との関わりから最適解・納得解を生み出していける力**を育んでいく。

じぶんを動かす



誰かに与えられる解き方や答えを待つという受け身の姿勢からの脱却。**学びを自分事として捉え、挑戦しようとする主体性**を育てていく。

先日終了した運動会も「仲間とともに作戦を考えたり」「最後まであきらめずに挑戦する」資質・能力を育てています。普段の漢字練習や計算、リコーダーの練習においても、「学びや経験をつなげ」「誰かとつながり」「考えをひらいて」「自分から成長する」力をつけていきます。新十津川小学校はそうやって、**「大人になっても必要な力」**の育成に努めていきます。

2 日　(火) 個人面談週間開始（19日まで）
3 日　(水) 児童会③
4 日　(木) 3年さつまいも学習　5年田植え学習
5 日　(金) 避難訓練（不審者対応）
9 日　(火) PTA会費・教材費引き去り日
16 日　(火) 2・4年見学旅行
17 日　(水) 1・3・5年歯科検診　　クラブ②
18 日　(木) 1年心臓検診
19 日　(金) 2・4・6年歯科検診
　　1・3年見学旅行
20 日　(土) 開基136周年記念式典
　　ゆめりあ（代表児童出席）
24 日　(水) 6年修学旅行（25日まで）
26 日　(金) 4年資源ゴミ学習

いじめ防止基本方針について

　新十津川町小学校は、町の「子どもいじめ防止基本方針」に基づいて、学校、家庭（保護者）、地域、行政の連携協力のもと子どもが安心・安全に学校で過ごせるよう教育活動を進めています。詳細は、右の二次元コード（新十津川町のHP）でご覧ください。

～学校の様子　いろいろ～

5／1　1年生を迎える会～各学年素敵な発表でした～

5／7　4年音楽　琴の体験

5／11　5年家庭科

お茶を入れました！

5／18　獅子神楽発会式

「仲間を信じて、くいの残らない運動会にしよう」　5月31日　大運動会

低気温・悪天候の予報だったため、順延で31日に実施しました。素晴らしい姿を見せてくれました！